

活動名  彩が丘団地‘元気ベンチ’プロジェクト	団体名	広島市佐伯区彩が丘連合町内会
	地域	広島県広島市
	代表者	連合町内会 会長 雨瀧 弘和
	支援金額	30万円
活動概要	<p>団地内にベンチを設置し、ウォーキングやバス待ちに利用していただくことを目的として計画した。2014年7月からベンチを設置する場所の調査やベンチのデザイン、コスト、材質、設置作業等検討し、およそ1年かけて2015年8月1日に設置し、9月6日に完成報告会を開催した。</p> <p>◆実施時期 2014年7月～2015年8月まで 場所：広島工業大学、彩が丘公民館、彩が丘団地内</p> <p>◆参加人数 彩が丘連合町内会（10名） / 広島工業大学（20名） / 広島市佐伯区地域おこし推進課（3名） 広島市市民局（3名） / 彩が丘小学校児童（6名） / マルニ（5名） 彩が丘公民館（3名） / 彩が丘児童館（3名）</p> <p style="text-align: right;">参加総人員：53名</p>	



デザインした学生と子どもたちが記念撮影



デザインした学生からベンチの説明



ベンチ前にて



ベンチプロジェクト完成発表会；彩が丘公民館

◆実施に伴う効果

地域の要望に応えることができたことと、学生の皆さんと町内の良い点や改善すべき点を検討することができ、今後の魅力ある街づくりに大変参考になった。他の町内会からも問い合わせがありモデル地域の形を作ることができたと感じている。

◆苦労した点

予算では、学生のデザインが材質にこだわり高額になったため、2台の設置しかできなかった。設置する場所が、歩道は許可がもらえず宅地内の緑地帯に設置が制限され所有者の同意や付近の家の理解を得ることに大変苦労した。

◆今後の課題・発展の方向性

今後については高齢者の居場所づくりを計画している。空き家を利用してコミュニティ活動をしている団体もあるようだが、彩が丘の場合は空き家自体が無い。閉店したお店を再利用できないかを検討している。

◆活動を終えての感想・意見等

少子高齢化に伴い、高齢者のみの住居や災害時非難援助者の数が増えております。町内会を中心に支え合う街づくりを目指してさらに活動を推進してまいりますので今後ともどうかよろしく願いいたします。